

堺市自殺対策推進計画(第3次)(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○計画全般に関するご意見		
1	<p>昨年年末に痛ましい衝撃的な放火事件が起きた。他者を巻き添えにした自殺と思われる。高齢、若年を問わずこの種の事件の増加が懸念される。コロナによる社会的副作用が社会の至る箇所に顕在化し始め、不安定な社会、不安定な雇用制度のもと、自殺の増加も懸念される。</p> <p>マスメディアも行政も困った時は身近の人に助けを求めると気軽に言うが、何度も助けを求めている人たちをますます救いのない絶望に追い詰めているのが実態ではないのか？今の施策にどれほどの実効性が期待できるのか？</p> <p>我が国の国力も低下の一途を辿り浮上の実感も持てない。コロナの収束後はよりその実態が露わになってくるのではないか。</p> <p>いま日本のみならず、世界の人類全体が「未来への大分岐点」に差し掛かっているという識者の説もある。国も自治体もここ30年来以上の重大な転換点にあることは確かだと思う。</p>	<p>まず、事件に関しまして、被害に遭われた方やそのご家族に対し、心よりお見舞いを申し上げます。</p> <p>ご意見のとおり、コロナ禍における経済的、社会的影響が自殺の増加（若者、女性の自殺の増加等）とも関連していると考えています。</p> <p>本市では、計画に基づき、市民、行政、関係機関・団体がみんなで支えあいながら自殺対策に取り組むプロセスを重視し、相談支援の充実、適切な相談窓口の周知、人材の養成などの取組をより一層強化します。</p>
2	<p>自殺者が多く長らく社会問題になっている我が国において自殺対策を進めることは大変有意義なものであり、特に現在のコロナ禍において厳しい状況に立たされている市民が多いことを考えると、是非計画を進めていただき、多くの命を助けていただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、コロナ禍などの社会情勢を踏まえながら、自殺対策の取組を進めていくことが重要と考えます。</p> <p>計画に基づき、ひとりでも自殺につながる人を減らしていくことができるよう、市全体で自殺対策の取組を推進します。</p>
○第1章 策定にあたって 4. 基本理念		
3	<p>基本理念（ささえよう かけがえのない、いのちをまもる、市民みんながゲートキーパー）は当然、自殺対策を推進する上で重要と考える。</p>	<p>ご意見のとおり、基本理念の下、市民をはじめ、行政、関係機関・団体が連携協働するという自殺対策にかかるプロセスを重視しながら、自殺対策を推進することが重要と考えます。</p>

	ご意見の要旨	市の考え方
○第2章 堺市の現状と課題 3. こころの健康といのちに関する意識調査からみた現状 (1) 市民意識調査の結果 ⑩自殺と依存の関係性について		
4	図表 28「最近1年間で「死にたい」と思うほど悩んだことの有無別にみたゲームにより生じた問題の有無」は、ゲームが原因で自殺につながるような書き方になっており誤解を生む。ゲームが最後の生き場となっている人もいて、それを取り上げることがさらに自殺するリスクを上げてしまう事になるので変える必要がある。	今回の調査では、「お酒、くすり、ギャンブル等、インターネット・ゲームに関する意識行動調査」を同対象者に同時に実施したため、クロス集計による分析が可能となっており、調査結果はあくまで回答の事実に基づくものです。 ゲームそのものが自殺と直結すると認識はなく、ゲームに没頭する(ゲームによって問題が生じる)背景には、死にたいほどの悩み(問題や生きづらさ)を抱えている人がいるという可能性を示唆したものと考えていますが、ご意見のとおり、誤解を招くことにならないよう、計画に注釈を新たに加えます。
5	図表 28「最近1年間で「死にたい」と思うほど悩んだことの有無別にみたゲームにより生じた問題の有無」とあたかもゲームが自殺の一因であるかのような表記をされているのは非常に問題である。実際には不登校や引きこもり等の生活の中で心の拠り所となり命が救われており、人との繋がりも形成されるなど社会復帰に役立てられている例もある。ゲームによって救われた実例をしっかりと視点に置くべきかつ自殺を防ぐ手段の1つとして考慮されるべきである。	自殺にはその背景に様々な要因があり、それらが複雑に絡み合っており、追い込まれた末の死とされています。本市では、計画を基に、自殺には依存症を含めたさまざまな要因があることを認識し、関連施策や関係機関等と連携しながら、連動性のある取組を進めます。
6	図表 28 について、別々の調査がひとまとめにされてしまっている。死にたいほどの悩みがある人は精神的に追い詰められており、ゲームに限らず、行為に対して問題が発生することは不自然ではないため、1つのグラフにすることは適切ではない。「堺市自殺対策推進計画(第3次)概要版(案)」にも同様の記述があり、自殺対策を推進する本計画にふさわしくないと考える。	また、ゲームの使用に関しては、ご意見のとおり、不安やストレス、自殺リスクの軽減につながることもあることも考慮に入れつつ、国の研究から重篤化した場合のうつ病や自殺との関連性が示唆されていることから、今後は国の動向を踏まえながら、引き続き実態の把握に努め、支援体制の整備を進めます。
7	図表 28 には2つ問題があり削除すべき。 クロス集計の前提に、ゲームをやっていない人が含まれておらず、問題ありの回答が意図的に高くなるよう設定されている。 あたかもゲームが死にたいと思わせるというような因果関係があるような記述となっており、自殺を防ぐ手段としてのゲームを否定することになりかねない。	

	ご意見の要旨	市の考え方
○第5章 基本方針および取組の推進		
8	<p>SNS 等の自殺へ誘導するワード及び自殺志願者をほう助するサイト等への取締りや閲覧制限をかけるなどの予防策が必要だと思う。周りが気づく事も大事だが、情報社会の世の中なので、死にたいと思う人のそのようなところに向かう心理を考えたうえでの支援をして欲しい。</p>	<p>平成 29 年の SNS を通じた殺人事件をきっかけに、国では SNS 等における自殺に関する不適切な書き込みへの対策や、死にたいと発信している人を対象に SNS 等を利用した相談対応の強化などを図っています。</p> <p>本市でも、死にたいと思い悩む方が適切な相談窓口につながることでできるよう、電話相談や SNS 相談をはじめ、相談窓口に関する情報発信を行います。</p>
9	<p>いじめ、虐待、DV など自殺に関連する問題に関して、行政、警察、保護施設、学校、裁判所、職域、医療等は情報共有して、対応も同時並行で行わないと、悲惨な事故（事件）につながるケースが最近多くなっていると感じる。さまざまな機関が連携して取り組まないといけない。</p>	<p>自殺は追い込まれた末の死であり、その背景にはさまざまな要因が重なっていることが多いとされており、ご意見のとおり、さまざまな関係機関等が連携して介入することが重要と考えます。</p> <p>本市では、本計画に基づき、市民をはじめ、行政、関係機関・団体が連携協働するという自殺対策にかかるプロセスを重視しながら、ゲートキーパーの拡充や連携強化などの取組を進めます。</p>
10	<p>子供も大人も自死を選択する社会が現在の社会。自死は、ほんとうは死にたくない。でも死ぬしか、いなくなりたいという気持ちが強くて、死ぬことを選択してしまう・・・。</p> <p>予防の対策として、そういう悩み事を気軽に話せる所（窓口）がいるのではないか。認知症の認知症カフェ的なものが各区にあると良いのでは。</p>	<p>ご意見のとおり、死ぬしかないとの選択にいきつく前に、死にたいほどの辛さと生きたいという思いを受け止め、支援につなげることでできる相談先（窓口）の充実と周知が必要と考えます。</p> <p>また、関連施策と連携し、相談支援の窓口の充実を図ることも重要と考えます。</p> <p>本市ではさらなる支援として、悩みを気軽に話せる相談役を、市民をはじめ、行政、関係機関・団体等の身近な人が担うことでできるようゲートキーパーの拡充を図り、「市民みんながゲートキーパー」の実現をめざします。</p>

	ご意見の要旨	市の考え方
11	<p>夜間相談への対応も市として検討して頂きたい。悩み事は日中とは限らず、特に死を考えるのは夜間が多くなるのではないか。そんな時に民間の相談センターに頼るのではなく、堺市として夜間相談窓口があっても良いのでは。</p> <p>そこから色々なところにつなぎ、まずは孤独から開放していくことが必要ではないかとか考える。</p>	<p>本市では、自殺者が多くなるとされている9月、3月にこころの健康相談統一ダイヤルにおいて24時間の相談電話を開設しています（大阪府、大阪市と共同事業）。また、啓発を通じて、民間の夜間電話や24時間ダイヤル、SNS相談などの周知を図っています。ご意見を参考に、今後も自殺の実態を把握しながら、孤立予防の取組等を推進します。</p>
12	<p>堺市でも啓発運動を行って欲しいです。シンポジウムなどして、市民参加型の自殺予防対策を作れること願っています。</p>	<p>ご意見のとおり、自殺対策を推進するにあたり、啓発への取組が重要と考えます。</p> <p>今後は計画に基づき、ICTを活用した講座や情報発信などを積極的に実施し、幅広い啓発活動に取り組みます。</p>
13	<p>親から虐待や問題行動の少年たちの社会生活のために、政令指定都市には設置が義務付けられており、堺市として「児童自立支援施設」を設置すべき。市長は、自殺防止対策として「児童自立支援施設」の建設再開を明言すべき。</p>	<p>令和3年1月に、大阪府への委託を継続することで合意しました。今後、堺市児童の受入れのため、令和6年4月、大阪府立施設内に新たな寮舎を建設する予定です。</p>
14	<p>ギャンブル依存症を増やさないためにも、大阪へのカジノ誘致を中止するように市長は、府知事と大阪市長に進言してほしい。カジノ誘致は、自殺推進に他ならないと言っても過言ではないと思う。</p>	<p>今後は自殺対策との連動性を持たせながら、「堺市依存症地域支援計画」に基づき、ギャンブル等を含む依存症の予防に関する取組や支援を充実します。</p>